

令和5年9月市議会定例会請願文書表

請願番号	請願第1号
件名	家庭ごみ収集事業についての請願の件
請願者	八尾市山本町南4-13-19 循環型社会をめざし、ごみの減量化をすすめる八尾の会 代表 鈴木 茂子
請願要旨	全文(写し)の通り
紹介議員	田中 裕子、谷沢 千賀子
付託委員会	健康福祉環境
受理年月日	令和5年8月14日

請願番号	請願第2号
件名	2024年度八尾市の教育条件整備についての請願の件
請願者	八尾市本町1-1-11 羽多野ビル306 全八尾市教職員組合気付 八尾の教育を考える市民会議 代表者 服部 宏 馬場野 成和(外署名960名)
請願要旨	全文(写し)の通り
紹介議員	田中 裕子、越智 妙子
付託委員会	文教
受理年月日	令和5年8月16日

請願番号	請願第3号
件名	国民健康保険料の引き下げを求める請願の件
請願者	八尾市服部川6-392-6 八尾市国保をよくする会 代表 吉川 均(外署名346名)
請願要旨	全文(写し)の通り
紹介議員	田中 裕子、谷沢 千賀子
付託委員会	健康福祉環境
受理年月日	令和5年8月17日

2023年8月14日

八尾市議会

議長 田中 慎二様

循環型社会をめざし、ごみの減量化
をすすめる八尾の会

代表 鈴木 茂子

八尾市山本町南4-13-19

家庭ごみ収集事業についての請願書

【請願趣旨】

循環型社会をめざし、ごみの減量化を促進するためには、住民と八尾市が直接協力関係を築くことがかかせません。八尾市が、ごみの実態を通して、住民生活を把握し、住民の意識の向上と協力をはかりながら、ごみを資源として活用することによって、ごみの減量化を追求していくことが重要です。八尾市が住民とともにすすめてきた、歴史的で優れたごみ行政を発展させる立場で、ごみ行政にあたるよう求めます。

【請願項目】

1. 家庭ごみ収集事業は八尾市直営を堅持すること

(紹介議員)

田中 裕子

谷沢 千賀子

令和5年(2023年)8月16日

八尾市議会議員 田中 慎二様

2024年度八尾市の教育条件整備についての請願

(提出者) 八尾の教育を考える市民会議

住所 八尾市本町1-1-11 羽多野ビル306 全八尾市教職員組合 気付

代表者 八尾市山本町北4丁目2-24 服部

八尾市堤町3丁目51-15 馬場野 茂和

請願趣旨

3年続いたコロナ禍のもと、子どもたちの成長・発達、心身への影響は深刻となっています。経済的な格差が広がり、子どもたちの暮らし、学びにも影響しています。八尾市内の学校でも、学習についていけない子、登校をしづる(不登校)の子どもが増えています。先生の不足する事態は続き、子どもたちに寄り添い、成長・発達と学びを進める先生が足りないという実態があります。また、特別支援教育の大幅な変更により、学校現場では模索が続いています。それにもかかわらず国は教職員定数の削減を続けています。子どもたちの成長、発達、学びを保障していくためには、国の教育予算の大幅な増額が必要です。同時に八尾市で子どもたちが安心して学べる教育条件の整備を前進させることは八尾市独自の課題でもあります。憲法と子どもの権利条約が生きて輝く教育をすすめるために、教育条件整備を国や大阪府に要望しつつ、八尾市においても、下記の項目について教育条件の整備を要望します。

請願事項

- 1 今年度実施のダブルカウント制度を中学校・小学校低・中学年に広げ、学級数に必要な教職員を確保してください。
- 2 特別支援学級で学ぶ児童・生徒を国の通知にもとづいて一方的に排除することをやめ、子ども・保護者との合意を大切にしてください。市内の全小中学校で通級指導教室をつくる予算措置を行ってください。
- 3 不登校児に対応する教室を全学校に設置し、対応職員を配置してください。また、現在の教育センターだけでなく、市内数カ所に子どもと保護者が気軽に行ける場を確保してください。
- 4 各学校のトイレの改修(洋式化)をさらに前進させてください。
- 5 老朽化した学校プールについて必要な予算措置を行い、自校での水泳授業を継続してください。
- 6 小・中学校の学校給食費無償化を制度化し、2024年度4月以降も継続してください。また、中学校給食実施について、「安全・安心」の観点から、全校に栄養職員を配置してください。
- 7 学校校務員の1校1人の体制を守って下さい。

(紹介議員)

越智 妙子
田中 裕子

2023年 8月 17日

八尾市議会 議長
田中 慎二 様

八尾市国保をよくする会 代表
八尾市服部川 6-392-6

吉川 均
他 346名

国民健康保険料の引き下げを求める請願書

【請願趣旨】

2023年6月、令和5年度国民健康保険料の決定通知書が送付されました。これまでにない大幅引き上げとなっています。この通知書を受けた市民から「なんでこんなに高くなってる」「今でも大変なのに、払いたくても払っていけない」「払える金額にしてほしい」などの抗議の声、怒りの声が窓口をおとずれた市民から寄せられています。国民年金保険料を支払っている夫婦の4人世帯では、年金保険料が2人で約40万円、国民健康保険料は所得200万円の4人世帯では62230円も引き上げとなり、年間418000円の負担です。両方合わせると80万円余りを払うことになり、家計を圧迫している状態です。

国民健康保険は社会保障の一環であり、国民、市民の生命を守ることを国や自治体に求めています。地方自治の本旨にもとづき、福祉の増進に努めるとともに、生活実態に見合った国民健康保険料に引き下げよう強く求めます。

【請願項目】

- 1、高い国民健康保険料を引き下げること。

(紹介議員)

谷沢 千賀子

田中 裕子